

様式 13

## 論文の概要および審査結果の要旨

氏名：赤堀 将孝

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：看博甲第4号

学位授与の日付：2024年3月16日

学位授与の要件：関西福祉大学大学院 学位授与規程第3条第2項

研究科・専攻：看護学研究科・看護学専攻

学位論文題目：地域での生活支援に必要な作業療法士の卒業時コンピテンシーに関する研究

論文審査委員 主査：清水 咲美（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

副査：堀 理江（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

副査：小西美智子（所属・職位 関西福祉大学大学院看護学研究科・教授）

### (1) 論文の概要

本研究の目的は、地域での生活支援に必要な作業療法士（以下、OT）の卒業時コンピテンシー項目を作成し、地域作業療法領域の OT 教員が捉える教育との関連性を明らかにすることである。

論文は、第1から第3研究で構成され、第1研究では、文献検討より、地域での生活支援に必要な OT 学生の卒業時コンピテンシー項目案 58 項目を作成した。第2研究では、全国で通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションに従事している OT149 名にデルファイ法を用いて、コンピテンシー項目案についての調査を実施し、51 項目を抽出した。抽出された 51 項目は、OT の基盤となる資質・能力に関する項目が多く、次いで、作業の評価やその支援計画、他専門職の職種理解や住環境に関する項目が多かった。第3研究では、203 校の OT 養成施設に所属する地域作業療法領域の OT 教員を対象に、第2研究で抽出した 51 項目についての必要性や実施状況、実施計画の有無を調査した。OT 教員は、抽出された 51 項目について、教育における必要性が高いと捉えており、卒業時コンピテンシー項目と教育との関連性を確認することができた。

本研究は、OT 育成のために必要な教育の発展に寄与し、人々の生活の質向上への貢献、実践への適用の可能性があることが確認された。

### (2) 論文審査の結果の要旨

OT が地域での生活を支えるために必要な卒業時コンピテンシーを明らかにし、今後の看護との連携・協働に役立てる可能性についても言及している。このことは、今後の OT 育成や他職種協働に役立つものであり、看護学への学術的貢献、及び人々の健康福祉への貢献において、優れた博士学位論文として評価する。